

## 1 概要

平成 30 年台風 24 号災害により被災した農地・農業用施設の復旧について、平成 31 年 2 月より順次工事発注を行っているが、国への変更申請や資材不足などにより復旧が遅れる見込みであり、今年は被災水路に係る農地等での水稻作付けが困難になっている。

このことについて、被災水路や農地関係者への連絡、説明を行った。なお、水稻作付けまでの期間が短いため、関係者(災害箇所通報者、水路管理代表者、土地改良区)への周知は、通知及び JA の放送により実施。

## 2 工事発注状況(平成 31 年 4 月 19 日時点)

### (1) 国庫補助

| 工種    | 全体  | 発注済 | 残り |
|-------|-----|-----|----|
| 農地    | 70  | 31  | 39 |
| 農業用施設 | 69  | 41  | 28 |
| 林道    | 4   | 0   | 4  |
| 合計    | 143 | 72  | 71 |

※残りは 5 月中に発注予定

### (2) 小災害(未発注)

| 工種    | 全体  |
|-------|-----|
| 農地    | 142 |
| 農業用施設 | 172 |
| 林道    | 26  |
| 合計    | 340 |

※設計積算中、6 月発注予定

## 3 関係者への連絡、説明について

### (1) 平成 30 年 12 月

災害箇所通報者に復旧スケジュールを文書にて通知

### (2) 平成 31 年 3 月

多面的機能支及び中山間地域等直接支払交付金事業に関する地元組織(計 60 組織)において、これまでの経過及び今年の水稲作付けが困難である旨を説明。町しっかり守る農林基盤補助金での対応方法等、組織で復旧に取り組んでいただくよう依頼。

また、災害箇所通報者に、復旧の遅れ並びに今年の水稲作付けが困難である旨を文書にて通知。

### (3) 平成 31 年 4 月

JA の放送(防災無線)を利用し、復旧の遅れ並びに今年の水稲作付けが困難である旨の放送を実施。

被災水路流域、被災農地(田)での今年の水稲作付けへの影響について、水路代表者、耕作者等に聞き取りを実施。

## 4 聞き取り結果等

災害(水路閉塞等)による水稻等影響面積 15.78ha

苗のキャンセルについては JA 営農センターと協議し、柔軟に対応していただくよう調整を行った。

## 琴浦町農業研修生宿泊施設の利用状況について

農林水産課

### 1 概要

- (1) 平成 29 年度に単身用 4 部屋、世帯用 1 部屋を整備
- (2) 平成 30 年度から琴浦町農業研修制度を開始し、ホームページ・県外フェア等で農業研修生(ミニトマト)を募集
- (3) 平成 31 年 2 月より町の研修制度(地域おこし協力隊)を活用する研修生を 1 名受け入れ
- (4) 平成 31 年(2019 年) 6 月より、県の研修制度(先進農家実践研修)を活用する研修生を 1 名受け入れ予定。

### 2 今後の予定

平成 32 年(2020 年) 2 月スタートの琴浦町農業研修制度利用希望者 3 名あり。  
県外フェア・現地体験会による就農相談等、継続フォローを実施中。

|   | 出身地 | 入居(予定)日                 | 研修制度            | 研修品目           |
|---|-----|-------------------------|-----------------|----------------|
| 1 | 奈良県 | H31.2(単身)               | 町農業研修制度         | ミニトマト+スイカ      |
| 2 | 徳島県 | H31(2019).6 予定<br>(単身)  | 先進農家実践研修<br>(県) | ミニトマト+スイカ(メロン) |
| 3 | 大阪府 | H31(2019).10 希望<br>(単身) | 町農業研修制度         | ミニトマト+スイカ      |
| 4 | 京都府 | H31(2019).10 希望<br>(単身) | 町農業研修制度         | ミニトマト+スイカ      |
| 5 | 大阪府 | H31(2019).10 希望<br>(世帯) | 町農業研修制度         | ミニトマト+スイカ      |

# ネギ黒腐菌核病の発生に伴う緊急防除事業について

農林水産課

## 1 概要

平成 31 年 3 月に、新たなネギ黒腐菌核病の発生が確認された。

感染力の強い重要病害であり、他のほ場への感染拡大を防ぐためには春作業終了後の早急な防除が必要となるため、鳥取県の「戦略的園芸品目(白ネギ)総合対策事業」を活用して、発生ほ場の土壌消毒を行う。

緊急対応が必要なため、予備費を充用して対応。

## 2 発生状況等

琴浦町逢東 発生ほ場面積 約 48 a

## 3 事業内容

土壌消毒(マルチ被覆)の実施

実施時期：5月下旬を予定

## 4 事業に要する経費

補助金額 276 千円(事業費 413 千円、県 1 / 3、町 1 / 3)



# くろぐされきんかくびょう ～ネギの重要病害「黒腐菌核病」について～

鳥取県園芸試験場 弓浜砂丘地分場

## 1. 症 状

- (1) 下葉が黄化し、しだいに葉全体が黄白色から灰白色に変色して枯れ込み、株が萎凋する。発生した箇所は坪枯れ状となる。
- (2) 発病株は根が切れやすいため容易に抜け、盤茎部または地際部が黒色の腐れ症状を呈し、黒色の小菌核粒が無数に形成され、集団で形成されるとかさぶた状となる。
- (3) 重傷の株では、盤茎部を中心に軟化腐敗し、灰白色の菌糸を生じる。



写真1. 発生圃場の様子

写真2. 坪枯れ症状と発生株の状況

## 2. 菌の生態と発病条件(黒腐菌核病菌=*Sclerotium cepivorum*)

- (1) ネギの他、タマネギ、ニンニク、ラッキョウなどユリ科ネギ属に病原性を示す。
- (2) 伝染源は微細な菌核(直径 0.3~0.5mm)で、ネギ属作物が栽培されなくても4年以上生存。
- (3) 比較的冷涼～寒冷期に発病する低温性生育菌(暖かい時には発病しない)。

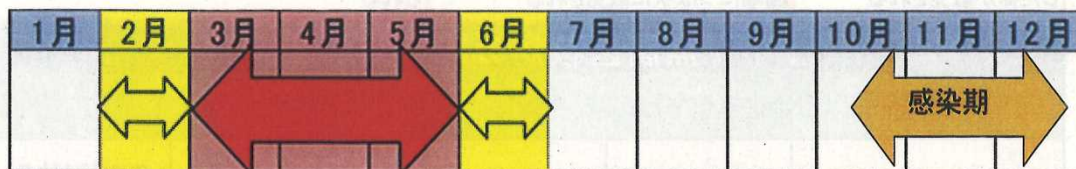
【発病適温】地温 10~20℃(気温 10~15℃)

※地温 10℃以下での発病は緩慢であり、22℃以上では著しく抑制される

【最適 pH】pH4 前後であるが、発病適温期では pH の影響を受けにくい(pH2.4~7.9 で良好)

【感染時期】11~12月、3~4月 【多発時期】3~4月 ※春ネギは最も発生しやすい

【伝 染 源】被害残渣に付着した菌核(長期間土壌中に生存)



※ ⇔: 黒腐菌核病による被害が懸念される収穫時期  
     被害の可能性低い         やや危険         危険

図1. ネギ栽培において被害が懸念される収穫時期